

日本鐵鋼協會記事

理事會 (昭和 14 年度第 9 回)

日 時 昭和 14 年 12 月 7 日 (木) 午後 5 時開會同 7 時
10 分閉會

出席者 齋藤 大吉 渡邊 三郎 松下 長久
吉川 晴十
前會長 今泉嘉一郎 河村 驍 服部 漸
水谷 叔彦
監事 井上禱之助
常務委員 三島 徳七 鹽澤 正一

協議事項

- 1) 社團法人日本金屬學會を日本工學會社員に推薦の件
- 2) 日本工學會より社員名配列順序に付き照會の件
- 3) 第 4 回工學會大會總會に於ける本會代表講演者並講演題目の件
講演者 會長 標題は後決
- 4) 入退會者及び會員異動(氏名別項)

會員異動總計表

	名譽會員	維持會員	贊助會員	正會員	准會員	計
入會者數	—	—	—	11	52	63
退會者數	—	—	—	1	3	4
轉格者數	—	—	—	+103	-103	0
現在會員數	14	50	21	2,017	1,403	3,504
前年對増減	—	—	—	+113	- 54	+ 59

報告事項

1. 昭和 14 年 11 月分收支報告
2. 第 4 回工學會大會に於ける日本鐵鋼協會會場決定
(イ) 法文經學部第 2 號館 1 階 28 號室 (收容人員 294 名)
(ロ) " " 2 階 33 號室 (" 144 名)
3. 各學協會職員懇親會

日 時 昭和 14 年 11 月 25 日 (土) 午後 5 時 30 分
場 所 築地明石町「治作」

出席者 電氣通信學會の外 14 學協會並日本工學會職員計 25 名

日本鐵鋼協會より日下宗基出席

4. 電氣製鋼研究會小委員會

(1) 第 4 次第 1 小委員會

日 時 昭和 14 年 11 月 14 日 (水) 午後 1 時開會同 8 時閉會

場 所 日本工業俱樂部

出席者 堀切 政康 加藤 脩 神谷 基夫
吉田 正夫 田宮 利彦 牛尾 眞三

議事 (1) 標準容量に對する變壓器の容量, 電極の徑等
(2) 標準容量に對煉瓦, 爐體 寸法等 (3) 爐頂裝入式其他
(4) 第 5 回小委員會昭和 14 年 12 月 22 日 (木) 開催豫定

(2) 第 3 次第 2 小委員會

日 時 昭和 14 年 12 月 2 日 (土) 午後 2 時開會

場 所 日本工業俱樂部

出席者 稻津 健介 十河 浩 落合 勇

岡 憲市 武井 武 鈴木千代藏
日下 和治 益田 義三 藤原 唯義
茂木 吉治

特別出席者 陸軍航空技術研究所員航空兵中佐高瀬孝次君

議事 (1) 前回決議事項の再検討 (2) 各委員より銑鐵各種製造, 屑鐵配給, 規格等の説明希望, 討議 (3) 高瀬中佐の屑鐵代用品に關する講話 (4) 第 4 次本小委員會昭和 14 年 2 月 3 日 (土) 開催豫定

5. 圖書閱覽内規改正(追て會誌廣告欄に發表)
6. 事務員異動

幸田 弘 昭和 14 年 10 月 31 日 退職
砂門 喜苦 昭和 14 年 11 月 8 日 臨時採用
田邊 正信 昭和 14 年 11 月 22 日 採用

7. 野田文庫 11 月分購入圖書 (別項)

評議員會 (昭和 14 年度第 1 回)

日 時 昭和 14 年 12 月 7 日 (木) 午後 4 時 30 分開會同
5 時 10 分閉會

場 所 日本鐵鋼協會事務所

出席者 會長理事 齋藤 大吉
理 事 渡邊 三郎 松下 長久 吉川 晴十
前會長 今泉嘉一郎 河村 驍 服部 漸
水谷 叔彦
監事 井上禱之助
評議員 井村 竹市 金子 恭輔
委任狀 50 通
常務委員 三島 徳七 鹽澤 正一

協議事項

1. 本會定款中改正の件
第 14 條末項「評議員 60 名」とあるを「評議員 100 名以内」と改む
理由, 鐵鋼界の發展會員の増加に伴ひ評議員増加の必要を認めたるに依る
2. 臨時總會開會の件
決議事項 定款第 14 條改正に關する件, 期日 昭和 14 年 1 月中

報告事項

- 1) 定款並内規に據り本年度に開催せる會合數 (12 月 6 日調)
- | | |
|----------------------------|-----|
| 通常總會 | 1 回 |
| 編輯委員會 | 8 回 |
| 理事會 | 8 回 |
| 講演大會 | 2 回 |
| 講演會例會 | 5 回 |
| 關西支部創立總會並幹事會 | 1 回 |
| " 商議員會 | 4 回 |
| " 講演並見學會例會 | 4 回 |
| 第 2 回燃料經濟部會平爐熱勘定 | 1 回 |
| 第 2 回自動車用鐵鋼材研究會 (日本機械學會聯合) | 1 回 |

電氣製鋼研究會準備委員會	1 回
〃 全委員會	2 回
〃 幹事會	1 回
〃 小委員會	8 回
耐火物特別座談會 (大日本窯業協會聯合)	2 回

2) 野田文庫備付圖書 (昭和 14 年 11 月 30 日調)

和 書	74 冊
洋 書	283 冊
外 國 雜 誌	26 種

3) 會 員 數

	昭和 4 年末	昭和 12 年	昭和 13 年	昭和 14 年
名譽會員	7	17	14	14
維持會員	25	45	48	50
贊助會員	20	16	20	21
正 會 員	743	1,055	1,190	2,017
准 會 員	617	1,225	1,630	1,403
計	1,412	2,358	9,902	3,504

備考 昭和 4 年を除き他は各年 11 月末日調

編輯委員會 (昭和 14 年度第 8 回)

日 時 昭和 14 年 11 月 22 日 (水) 午後 5 時開會同 7 時閉會

出席者 吉川 理事 委員 池田 正二 田中 清治
齋藤 彌平 三島 徳七 鹽澤 正一

協議事項

1. 鐵と鋼第 26 年第 1 號論文原稿選定

決定原稿

- (1) 紫鑛より鐵屑代用品の製造 藤井 寛, 谷口 悟
- (2) 鐵鋼中の非金属屬在物の研究 第 1 報
鐵鋼中の Al_2O_3 及 SiO_2 に就て 荒木 逸夫
- (3) 鋼管の亞鉛鍍金に就て 第 1 篇
ガス管の沸し付け鍍金法による優秀亞鉛鍍金層に就て 荻野 安藏
- (4) ケールダール法に依る鐵及鋼窒素定量法 (第 1 報)
微量アンモニア蒸溜裝置 宗宮 尙行

2. 鐵と鋼第 25 年第 12 號上掲抄録原稿審査

3. 鐵鋼要覽編纂の件

4. 其他編輯事務に関する二三

日本鐵鋼協會關西支部第 4 回例會

日 時 昭和 14 年 11 月 25 日 (土) 午後 2 時より

會 場 大阪市船町 3 丁目 中山製鋼所

1. 講演會

挨拶 中山製鋼所社長 中山 悦治君
熔鑛爐建設經過 中山製鋼所建設部長 中島 三太君

2. 見 學 中山製鋼所熔鑛爐工場

3. 夕 食 中山製鋼所に於て

4. 座 談 會 滿鮮支鐵工業に就て

講演會 日時 昭和 14 年 11 月 30 日 (木) 午後 6 時 30 分

開會, 會場 帝國鐵道協會々館

演題及講演者

- A. 歐米に於ける最近の航空機材料に就て
東京帝國大學教授航空研究所員 工學博士 石田 四郎君
- B. 歐米視察所感

中央工業株式會社常務取締役會長 工學士 今井 文平君
以上定刻吉川理事開會の辭を述べられ直ちに司會され盛會に午後
8 時 45 分終了す, 來聽者 約 170 名

編輯委員退任 五百旗頭啓君は昭和 8 年以來本會編輯委員として御盡力中の處此度吳海軍工廠製鋼實驗部長に御榮轉され離京の爲め辭任申出でられ 12 月 7 日理事會に於て受諾

日本鐵鋼協會, 鐵鋼聯盟聯合講演會開會の辭 (昭和 14 年 10 月 30 日鐵道協會々館に於けるヨハンゼン博士講演會)

司會者 日本鐵鋼協會前會長河村 颯博士

甚だ僭越でございますが, 私が主催者側を代表致しまして一言御挨拶を申し上げます, 本日の講演會は日本鐵鋼聯盟と日本鐵鋼協會の共同主催でありますが斯く多數の御來會を得まして盛大に催すことが出来たことは主催者一同の深く満足とする所であります, 御承知の通りに鐵鋼聯盟は我國鐵鋼の政策とか或は鐵鋼の經濟とか主として鐵鋼の經營方面に關して常に調査研究を致して居るのでございまして, 本邦鐵鋼業の統一的進歩發達を圖る所の機關であります, 又日本鐵鋼協會は我が國の鐵鋼に關する學術並技術の振興を圖る機關でありまして此の兩者が互に唇齒輔車の關係を有て常に緊密なる聯繫を保と云ふことに依て綜合的に我國の製鐵事業の進歩發達を促進せしむると云ふことは最も意義あることと考へるのであります私は願くは今回の共同講演會を楔機と致しまして將來とも兩者共同の實を擧げたいと云ふことを希望する者であります

本日の講演は第一席と致しましてはドクトル, ヨハンゼン氏 第 2 席には三島博士に御願致すことになつて居りますが三島博士の御講演に付きましては又他の理事から御紹介があることと存じます私は先づドクトル, ヨハンゼン君を御紹介致します

ドクトル, ヨハンゼン氏は獨逸のクルツプ會社のマグデブルグの工場に於きまして冶金部長をされて居りましてクルツプ會社のレン, ヘルハーレン(レン法)の發明者であると云ふことは皆さん御承知の通りであります, 此の方法に付きましては我が國でも多大の興味を感じるものでありまして既に鞍山の昭和製鋼所と三菱鐵業會社との共同出資に依りまして其の特許權を讓受けて居るのであります, 鞍山の昭和製鋼所に於てはキルン 12 臺を今据附け中でありまして是れ近く操業の運に至ることと考へられます

さう云ふ風に承て居ります, 又朝鮮の清津の三菱製鋼所は目下 4 臺のキルンの据附を終て其の一部は既に作業を開始して居るのであります, ヨハンゼン博士は是等の工場の精鍊作業の實地指導の爲去 8 月に來朝されまして先日の滿洲に於ける日本鐵鋼協會及滿洲冶金學會の通俗講演會の席上に於ても今夕と同様の御講演を御願致したのであります, 今回再び同氏の御承諾を得まして茲に日本鐵鋼協會並鐵鋼聯盟兩者の共同主催の下に御講演下さることになつた次第であります尙講演の通譯としては本邦に於けるクルツプの代表會社なるワルター・ルムケの社員である所の鈴木泰次郎君が滿洲に於ても通譯の勞を取て下さつたのであります但今も亦前同様通譯方御承諾下さつたことは誠に仕合せと致す所であります, 茲に講演者並通譯者御兩君に對しまして厚く御好意を感謝する次第であります, 又直接間接に此の事に付て御好意を受けましたバルケ君に對しましても此の機會に厚く御禮を申し上げます

それでは之れからドクトル, ヨハンゼン君の御講演を御願致します (鐵と鋼第 25 年第 11 號 976 頁参照)

新入會者氏名 (11月自1日至30日)

居 所 及 宛 名 先	勤務先又は職業	會員別	入 會 者 氏 名	紹 介 者
麴町區霞ヶ關 3ノ3 ダイヤモンド社内	生産擴充研究會	正會員	福 田 八 五 郎君	風村 間松 篤橋 次太 郎郎郎郎統爾郎十治次一十清十七郎郎雄宏七十郎
市川市市川 5ノ1035	工學士 葛飾精鍊會社 青砥工場	〃	大 村 進君	篤橋篤橋 一 莞 太 晴清 金 與晴川晴德 敏橋 秀 德晴 太 郎
本郷區駒込上富士前町理研飯高研究室	理學士	〃	山 口 成 人君	高 殿 丸 川 中 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
新京特別市大同大街大陸科學院冶金研究室	工學士 昭和鑛業株式會社建設課	〃	宮 崎 武 平君	風村 飯眞 田村 吉田 藤濱 吉佐 三 中村 西澤 三 吉村
七尾市津向七尾セメント工場氣付	工學士 川口製鐵株式會社製銑課	〃	垣 内 淳君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
王子區稻付西町 1ノ4	海軍技師製鋼部長	〃	田 丸 哲 次 郎君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
吳市吳海軍工廠	陸軍中將 日鐵鑛業株式會社取締役	〃	宇 留 野 四 平君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
淀橋區柏木 1ノ124 (電淀橋 0029)	日本電爐工業會社	〃	永 持 源 次君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
世田谷區北澤 3ノ1016	工學士	〃	杉 江 勝 雄君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
朝朝成鏡北道城津邑日本高周波重工業株式會社	海軍中將 日鐵鑛業株式會社	〃	山 本 茂 雄君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
世田谷區新町 3ノ467	日本樂器製造株式會社	准會員	兼 田 市 郎君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
濱松市尾張町 89 太田顯方	日本金屬工業會社川崎工場	〃	太 田 敬 二君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
橫濱市保土ヶ谷區峯岡町 2202	東北帝大工, 冶, 在學	〃	生 形 豐君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
仙臺市靈屋下 100 草刈眞方	工學士 東邊道開發會社計畫科	〃	清 水 直 十君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
新京市中央通兒玉寮	東京帝大工, 冶, 在學	〃	井 上 俊 夫君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
麴町區紀尾井町 3 森曉方	川崎重工業株式會社製鐵工場	〃	三 木 正 隆君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
神戸市林田區大丸町 305	東京帝大工, 冶, 在學	〃	山 下 廣 作君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
本郷區千駄木町 57 成田信雄方	東京帝大工, 冶, 在學	〃	神 山 重 夫君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
朝鮮清津府水南洞 100 三菱鑛業會社清津精鍊所	工學士 陸軍造兵廠東京工廠	〃	武 田 茂 則君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
府下南多摩郡町田町原町田 605 鈴木方	工學士 火砲製造所	〃	小 合 康 長君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
大阪市東區杉山町陸軍造兵廠幹候合同教育所	工學士 日產自動車株式會社	〃	末 光 秀 雄君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
兵庫縣武庫郡大庄村字中原尼崎製鋼所	工學士 〃	〃	荒 木 要君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
橫濱市神奈川區大口通 133	工學士 〃	〃	坂 井 龍 二君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
橫濱市鶴見區鶴見町 1064 鶴見莊	工學士 〃	〃	佐 々 木 定 道君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
橫濱市鶴見區東寺尾町 1770	〃	〃	藤 田 智君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
大阪市住吉區帝塚山東 6ノ1 小野よしえ方	〃	〃	福 島 義 盛君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
大阪市大正區新炭屋町 77 栗本鐵工所	〃	〃	岡 田 市 松君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
朝鮮成鏡北道城津邑日本高周波重工業株式會社製鋼課	〃	〃	加 味 根 健 治君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
滿洲國鞍山市昭和製鋼所製鋼工場	〃	〃	成 里 春 三君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
橫濱市鶴見區鶴見町 1174	日本鑄造株式會社製鋼部電氣爐係	〃	角 田 定 雄君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
江戸川區小松川 3ノ31	日本鑄鋼會社鑿品部	〃	竹 原 俊 信君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
世田谷區玉川奧澤町 3ノ195	工學士 特殊製鋼株式會社蒲田工場	〃	久 保 田 勝 三君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
蒲田區南六郷 2ノ35ノ4 特殊製鋼株式會社蒲田工場	藥學士	〃	經 田 政 義君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
小石川區原町 13 白鷺舎	東京帝大工, 冶, 在學	〃	住 木 勝 君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
城東區大島町 4 丁目大島製鋼所	設計係	〃	佐 久 間 進 正君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
廣島縣賀茂郡廣村廣海軍集會所	廣海軍工廠	〃	吉 田 政 彦君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
大阪府布施市大字大蓮一四九五	大阪中山鋼業株式會社	〃	高 木 福 雄君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
京都市左京區北白川上終町三一柴田方	京都帝大冶金科在學	〃	柳 澤 雅 男君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
滿洲國哈爾濱工業大學學寮	在學	〃	張 贊 堯君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村
〃	〃	〃	房 亞 喬君	森 谷 川 々 川 島 本 松 村 島 川 村

滿洲國哈爾濱工業大學學寮	〃	准會員	張 慕 鴛君	森 棟 隆 弘
〃	〃	〃	王 明 軒君	〃
〃	〃	〃	劉 士 威君	〃
〃	〃	〃	張 志 筠君	〃
京都市左京區北白川久保町 8 合志進方	京大工, 冶, 在學	〃	村 上 陽 太 郎君	西 村 秀 雄
兵庫縣武庫郡大庄村西字本田沖 904	東洋スチール株式會社	〃	北 村 清君	藤 井 寬
兵庫縣武庫郡大庄村南川端 695	〃	〃	神 野 信 藏君	〃
尼崎市灘波通 8 / 192	尼崎製鋼所	〃	千 野 正 夫君	千 柄 賢 勇
淀橋區柏木 1 / 137	三菱東京機器製作所	〃	香 取 信 二君	大 野 宗 平
大阪市天王寺區南日東町 193	工學士 住友製鋼所	〃	片 倉 理 一君	室 井 嘉 治 馬
大阪市西淀川區外島町大谷製鋼所大阪工場	〃	〃	吉 川 太 郎君	小 野 貞 義
兵庫縣武庫郡本山村田中 292	壽重工業會社大津工場	〃	笹 川 茂 治君	藤 井 寬
朝鮮咸鏡南道咸洲郡興南邑柳亭里社宅北區 173	朝鮮窒素肥料會社興南工場製鐵部製銑係	〃	今 村 一君	大 石 文 夫
牛込區原町 1 / 36 (電牛込 6273)	日大工, 機, 在學	〃	笹 本 正 剛君	村 松 橘 太 郎
室蘭市新富町 15 甲藤方	室蘭高工冶金, 在學	〃	室 田 淳 郎君	甲 藤 新
八幡市大藏三條 1 / 513	日鐵八幡製鐵所監埋部	〃	長 井 峻 一 郎君	雀 部 高 雄
京都市左京區北白川平井町 85 新田方	京大工, 冶, 在學	〃	山 本 行 直君	澤 村 宏
京都市東山區大和路四條下ル 4 丁目小松町 565	〃	〃	森 山 徐 一 郎君	西 村 秀 雄
京都市左京區下鴨北園町 4 丁目山崎哲朗方	〃	〃	岡 本 岩 雄君	森 田 志 郎
京都市上京區小山中溝町 3 土肥方	〃	〃	村 上 國 輔君	西 村 秀 雄
大阪市大正區船町 3 中山製鋼所銑鐵部	〃	〃	金 谷 義 春君	辻 本 壽 貞 夫
堺市西永山園 12	中山製鋼所	〃	伊 藤 知 常君	〃

轉 格 者 (准會員より正會員へ轉格)

青木 正信君	青木 熊雄君	青木 尙君	荒木 彬君
雨宮康之助君	相澤 一郎君	足立 彰君	足立 竹雄君
天野 誠君	芦田 勇君	朝倉 潮君	麻生 友治君
有山 恭藏君	岩崎 航介君	宇津 巖君	川崎 正之君
木村 素一君	木村 音吉君	木村 秋行君	菊池大之正君
菊池 敏治君	岸川 官一君	栗原 泰夫君	隈部 信君
中本 勝義君	小池 勝安君	小林 龜郎君	小出登雄吉君
小松澤榮之助君	小瀬俊次君	小菅 高君	高山 武夫君
近藤 正男君	齋藤 信男君	齋藤 日露英君	佐藤 義雄君
佐藤與一郎君	佐々木忠尙君	酒井滿三郎君	坂井 茂男君
坂戸 義寬君	下田 助治君	志賀 芳雄君	志村寅次郎君
芝 貫介君	新持喜一郎君	白倉 貞熹君	杉 正道君
杉山徳次郎君	杉本 正二君	鈴木 英一君	末廣 榮久君
瀬戸口光哉君	瀬田猪左雄君	瀬尾喜代二君	竹中 正一君
千代 義教君	土田 稔君	妻藤 一郎君	寺井 清忠君
寺田 孝君	林 三樹男君	八卷 信郎君	人見 力君

平瀬 國雄君	日野建三郎君	飛田 喬司君	廣瀬 清雄君
樋口 勇君	藤田 一章君	藤崎 饒君	藤井 涼二君
藤井 定夫君	福田 輝夫君	福島 達孝君	福富 夏二君
古川 靖海君	船山 直一君	益本 嘉一君	松本 康君
松本 滋君	松本 網正君	松瀬 幸一君	前田 元三君
前田 一矢君	前畑 一君	政本 臣平君	梶山 正孝君
三田村勇吉君	宮内 良平君	宮内 健一君	宮下 光正君
宮地 一二君	水野時之介君	箕田八十五君	向山彌一郎君
森 敏綱君	森 芳朝君	森脇 和男君	森永 孝三君
毛利 惣之君	毛利 廣雄君	守安 憲君	

退會者承認済

正會員 橋本 亨	准會員 岡部 高曠	増田 富起
大坪 茂		

日本鐵鋼協會野田文庫購入圖書 (11 月分)

Authors	Titles
Wassermann, G.-	Kekturen Metallischer Werkstoffe.
	1939.